



電話機のリセットまたは再起動

アトリビュートを更新しなくても、デバイスをリセットまたは再起動できます。問題が発生したために、複数の電話機をバルク トランザクションによってリセットまたは再起動する必要がある場合に、この手順を使用します。

次の 2 つの方法のいずれかを使用して、リセットまたは再起動する電話機を検索することができます。

- 「クエリーを使用した電話機のリセットまたは再起動」(P.11-1)
- 「カスタム ファイルを使用した電話機のリセットまたは再起動」(P.11-3)

クエリーを使用した電話機のリセットまたは再起動

電話機を検索するためのクエリーを作成して電話機をリセットまたは再起動する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [電話(Phones)] > [電話のリセット/リスタート(Reset/Restart Phones)] > [クエリー(Query)] の順に選択します。
- [電話のリセット/リスタート(Reset/Restart Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [検索対象: 電話、検索条件:(Find Phones where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [デバイス名(Device Name)]
 - [説明(Description)]
 - [電話番号(Directory Number)]
 - [コーリングサーチスペース(Calling Search Space)]
 - [デバイスプール(Device Pool)]
 - [デバイスタイプ(Device Type)]
 - [コールピックアップグループ(Call Pickup Group)]
 - [LSC ステータス(LSC Status)]
 - [認証文字列(Authentication String)]
 - [デバイスプロトコル(Device Protocol)]
 - [セキュリティプロファイル(Security Profile)]
 - [共通デバイス設定(Common Device Configuration)]

2 番目の [検索対象 : 電話、検索条件 :(Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべての電話機を検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 4 クエリーをさらに定義するには、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、ステップ 2 ~ 3 の手順を繰り返します。

ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [デバイスプロトコル (Device Protocol)]
- [ステータス (Status)]
- [IP アドレス (IP Address)]

ステップ 6 レコードのリストから、検索条件に一致するデバイス名をクリックします。

ステップ 7 次のオプションのいずれかをクリックします。

- [リセット (Reset)] : 電話機をリセット (電源をオン / オフ) します。
- [リスタート (Restart)] : 電源のオン / オフをせずに電話機をリセットします。
- [設定の適用 (Apply Config)] : 最後のリセット以降に変更された設定のみをリセットします。

ステップ 8 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 電話機レコードを即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。電話機レコードを後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 10 電話機レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ 11 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.83-3) を参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.11-4) を参照してください。

カスタムファイルを使用した電話機のリセットまたは再起動

テキスト エディタを使用して、リセットまたは再起動する電話機のカスタム ファイルを作成できます。カスタム ファイルのデバイス名または電話番号のいずれかを使用できます。

始める前に

1. リセットまたは再起動する電話機について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
 - デバイス名
 - 説明
 - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. ファイルを Cisco Unified Communications Manager の最初のノードにアップロードします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている電話機をリセットまたは再起動する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のリセット/リスタート (Reset/Restart Phones)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。

[電話のリセット/リスタート (カスタム) (Reset/Restart Phones Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [更新対象: 電話、検索条件:(Update Phones where)] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。

- [デバイス名 (Device Name)]
- [電話番号 (Directory Number)]
- [説明 (Description)]

ステップ 3 カスタム ファイルのリストで、この更新用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。



注意

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべての電話機がリセットまたは再起動されます。

ステップ 4 [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 次のオプションのいずれかをクリックします。

- [リセット (Reset)] : 電話機をリセット (電源をオン/オフ) します。
- [リスタート (Restart)] : 電源のオン/オフをせずに電話機をリセットします。
- [設定の適用 (Apply Config)] : 最後のリセット以降に変更された設定のみをリセットします。

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 電話機レコードを即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。電話機レコードを後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 8 電話機レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

- ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。
- ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル \(P.83-3\)](#)」を参照してください。
-

追加情報

[「関連項目」 \(P.11-4\)](#) を参照してください。

関連項目

- 「[クエリーを使用した電話機のリセットまたは再起動 \(P.11-1\)](#)」
- 「[カスタム ファイルを使用した電話機のリセットまたは再起動 \(P.11-3\)](#)」